

コンセッション事業においてCM方式を活用した「りんくう IC 工事」の概要

前田建設工業株式会社 正会員 ○今坂 成史
前田建設工業株式会社 正会員 山南 純二

1. はじめに

日本におけるコンセッションとは、公共インフラの所有権を公共側に残したまま、その運営のみを民間事業者が実施する官民連携の手法で、資金調達・運営などの新たな社会インフラ整備の仕組みとして着目されている。

平成28年8月31日に愛知県道路公社と愛知道路コンセッション株式会社が「愛知県有料道路運営等事業」の実施契約を行い、全国初となる民間事業者による有料道路の運営を10月1日から開始した。対象路線は、愛知県内の8路線・全72.5kmで、地域の皆様と協働しながら、地域活性化の拠点となる運営をめざしている(図-1)。

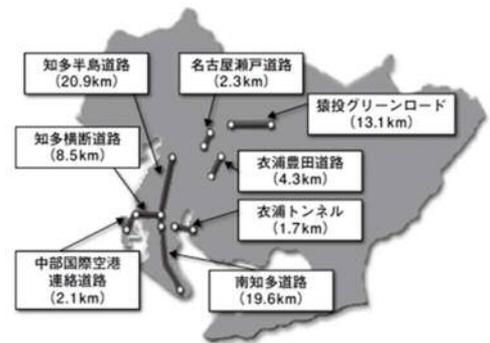


図-1 コンセッションの対象路線

2. コンセッション事業の契約スキーム

コンセッション事業では、利用料金を自らの収入として徴収し、自らの費用負担で道路の維持管理等を行う。今回のコンセッション事業では、有料道路の維持管理運営事業のほかに、新たな利便性向上策としての改築事業や、パーキングエリアにおける売店・レストラン等を運営する附帯事業を追加し、民間企業による地域への働きかけを一本化することで、事業の円滑化を図っている。その上で、民間事業者の努力によって生み出された利益交通量の増加による増収は、一定のルールのもとで民間事業者に帰属することになっている。

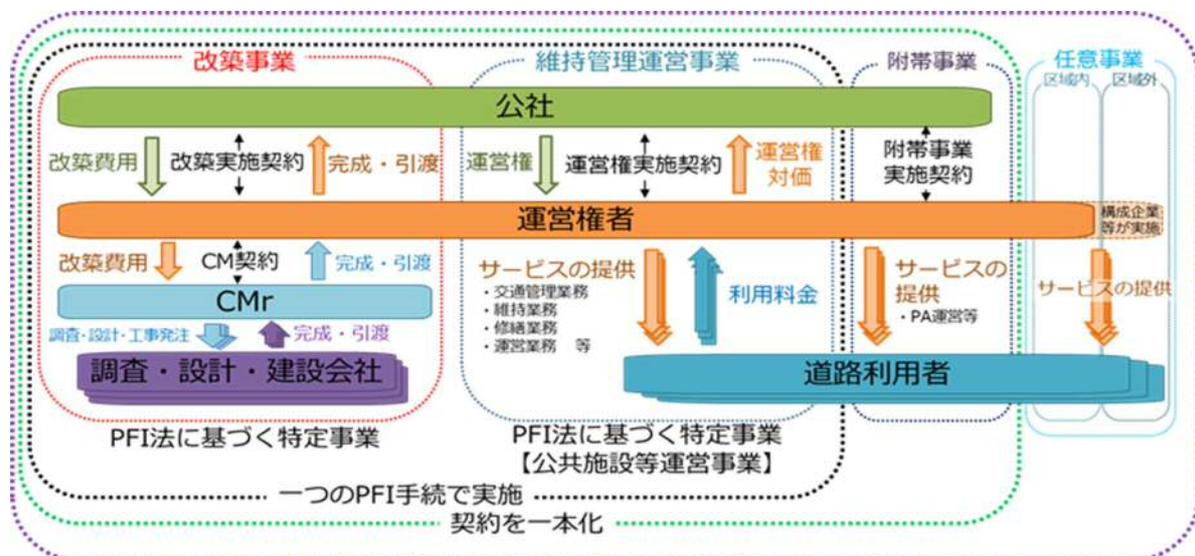


図-2 コンセッションの契約スキーム

3. りんくうインターチェンジ出口追加工事の概要

本工事は、愛知道路コンセッション事業で対象となる改築7事業の内の1つであり、愛知道路コンセッション(株)とCM方式で契約した前田建設工業(株)が調査・設計・施工等(用地取得業務は除く)の各業務を「CM方式(建設マネジメント方式)」で行うものである。

キーワード コンセッション事業, CM方式, 共通規制, 大型一括架設

連絡先 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄5丁目25-25 前田建設工業(株)中部支店 愛知道路CMr作業所

